



一宮歩こう会 青春の東海道歩き

# かわら版 21号

4月9日、第14ステージは本隊がJR天竜川駅からJR愛野駅まで。観光隊はJR磐田駅からJR袋井駅まで歩いた。「青春の東海道歩き」2回目の雨である。特に速足で歩く本隊は外の雨と内側の汗で大変だったようだ。ウォーキングの経験の浅い人が多い観光隊では「こんな雨の中を歩く自分を自分で褒めてやりたい」という声もあり貴重な経験であったようだ。

貴重な経験といえば磐田市にある日本最古の学校「見附学校」で受けた授業が良かった。ハナ、ハト、マメの古い教科書と石板が置かれた小さな机に向かって、館長さん

の名講義をみなさん真面目に聴いた。わずか15分間ではあったが「靴を脱いで良かった」ひとときであった。

全28回を予定している「青春東海道歩き」も今回がちょうど真ん中だが、「東海道53次どまん中の町」をキャッチフレーズにしている袋井市では、「東海道どまん中茶屋」へ寄らせていただいた。市所有の施設にボラン

ティアが交代で詰めてのお茶のご接待、うれしかった。毎日来ている人もあるそうで「年よりのたまり場になっていて私たちもうれしいのです」とか。前日にも「雨でも来ますか」と電話がかかる熱心さに脱帽である。我々の後にクラブツーリズムの団体が来るとかで、街道歩きブームが老人の生きがいにもなっているようだ。

